

—適正使用に欠かせない情報です。必ずお読みください。—

「使用上の注意」改訂のお知らせ

選択的直接作用型第Xa因子阻害剤
リバーロキサバン口腔内崩壊錠

リバーロキサバンOD錠10mg「ニプロ」 リバーロキサバンOD錠15mg「ニプロ」

2024年11月

ニプロ株式会社

このたび、標記製品の「使用上の注意」を自主改訂により下記のとおり改訂致しましたのでお知らせ申し上げます。

本剤のご使用に際しましては、電子添文の各項を十分ご覧くださいますようお願い申し上げます。

<改訂のポイント>

禁忌／相互作用(併用禁忌)：相互作用薬の記載方法を整備

記

改訂後 (下線：追加記載 記載位置変更)	改訂前 (下線：削除 記載位置変更)
<p>2. 禁忌(次の患者には投与しないこと)</p> <p>2.1 ～ 2.5 現行のとおり</p> <p>2.6 <u>リトナビルを含有する製剤</u>、アタザナビル、ダルナビル、ホスアンプレナビルを投与中の患者 [10.1、16.7.1 参照]</p> <p>2.7 現行のとおり</p> <p>2.8 イトラコナゾール、<u>ポサコナゾール</u>、ポリコナゾール、ミコナゾール、ケトコナゾールの経口又は注射剤を投与中の患者 [10.1、16.7.2 参照]</p> <p>2.9 ～ 2.11 現行のとおり</p>	<p>2. 禁忌(次の患者には投与しないこと)</p> <p>2.1 ～ 2.5 略</p> <p>2.6 <u>HIVプロテアーゼ阻害剤(リトナビル、ロピナビル・リトナビル、アタザナビル、ダルナビル、ホスアンプレナビル)、ニルマトレルビル・リトナビル</u>を投与中の患者 [10.1、16.7.1 参照]</p> <p>2.7 略</p> <p>2.8 <u>アゾール系抗真菌剤(イトラコナゾール、ポリコナゾール、ミコナゾール、ポサコナゾール、ケトコナゾール)</u>の経口又は注射剤を投与中の患者 [10.1、16.7.2 参照]</p> <p>2.9 ～ 2.11 略</p>

改訂後 (<u> </u> 下線：追加記載) : 記載位置変更)	改訂前 (<u> </u> 下線：削除) : 記載位置変更)																		
10. 相互作用 10.1 併用禁忌 (併用しないこと) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">薬剤名等</th> <th style="width: 30%;">臨床症状・措置方法</th> <th style="width: 40%;">機序・危険因子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> リトナビルを含有する製剤 (ノービア、カレトラ、パキロビッド) アタザナビル(レイアタツ) ダルナビル(プリジスタ、プリジスタナイーブ) ホスアンプレナビル(レクシヴァ) [2.6、16.7.1 参照] </td> <td> 現行のとおり </td> <td> 現行のとおり </td> </tr> <tr> <td> 以下の経口又は注射剤 イトラコナゾール(イトリゾール) ポサコナゾール(ノクサフィル) ポリコナゾール(ブイフェンド) ミコナゾール(フロリード) ケトコナゾール(国内未発売) [2.8、16.7.2 参照] </td> <td> 現行のとおり </td> <td> 現行のとおり </td> </tr> </tbody> </table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	リトナビルを含有する製剤 (ノービア、カレトラ、パキロビッド) アタザナビル(レイアタツ) ダルナビル(プリジスタ、プリジスタナイーブ) ホスアンプレナビル(レクシヴァ) [2.6、16.7.1 参照]	現行のとおり	現行のとおり	以下の経口又は注射剤 イトラコナゾール(イトリゾール) ポサコナゾール(ノクサフィル) ポリコナゾール(ブイフェンド) ミコナゾール(フロリード) ケトコナゾール(国内未発売) [2.8、16.7.2 参照]	現行のとおり	現行のとおり	10. 相互作用 10.1 併用禁忌 (併用しないこと) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">薬剤名等</th> <th style="width: 30%;">臨床症状・措置方法</th> <th style="width: 40%;">機序・危険因子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> HIVプロテアーゼ阻害剤 リトナビル(ノービア) ロピナビル・リトナビル(カレトラ) アタザナビル(レイアタツ) ダルナビル(プリジスタ、プリジスタナイーブ) ホスアンプレナビル(レクシヴァ) ニルマトレルビル・リトナビル(パキロビッド) [2.6、16.7.1 参照] </td> <td> 略 </td> <td> 略 </td> </tr> <tr> <td> 以下のアゾール系抗真菌剤 (経口又は注射剤) イトラコナゾール(イトリゾール) ポリコナゾール(ブイフェンド) ミコナゾール(フロリード) ポサコナゾール(ノクサフィル) ケトコナゾール(国内未発売) [2.8、16.7.2 参照] </td> <td> 略 </td> <td> 略 </td> </tr> </tbody> </table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	HIVプロテアーゼ阻害剤 リトナビル(ノービア) ロピナビル・リトナビル(カレトラ) アタザナビル(レイアタツ) ダルナビル(プリジスタ、プリジスタナイーブ) ホスアンプレナビル(レクシヴァ) ニルマトレルビル・リトナビル(パキロビッド) [2.6、16.7.1 参照]	略	略	以下のアゾール系抗真菌剤 (経口又は注射剤) イトラコナゾール(イトリゾール) ポリコナゾール(ブイフェンド) ミコナゾール(フロリード) ポサコナゾール(ノクサフィル) ケトコナゾール(国内未発売) [2.8、16.7.2 参照]	略	略
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子																	
リトナビルを含有する製剤 (ノービア、カレトラ、パキロビッド) アタザナビル(レイアタツ) ダルナビル(プリジスタ、プリジスタナイーブ) ホスアンプレナビル(レクシヴァ) [2.6、16.7.1 参照]	現行のとおり	現行のとおり																	
以下の経口又は注射剤 イトラコナゾール(イトリゾール) ポサコナゾール(ノクサフィル) ポリコナゾール(ブイフェンド) ミコナゾール(フロリード) ケトコナゾール(国内未発売) [2.8、16.7.2 参照]	現行のとおり	現行のとおり																	
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子																	
HIVプロテアーゼ阻害剤 リトナビル(ノービア) ロピナビル・リトナビル(カレトラ) アタザナビル(レイアタツ) ダルナビル(プリジスタ、プリジスタナイーブ) ホスアンプレナビル(レクシヴァ) ニルマトレルビル・リトナビル(パキロビッド) [2.6、16.7.1 参照]	略	略																	
以下のアゾール系抗真菌剤 (経口又は注射剤) イトラコナゾール(イトリゾール) ポリコナゾール(ブイフェンド) ミコナゾール(フロリード) ポサコナゾール(ノクサフィル) ケトコナゾール(国内未発売) [2.8、16.7.2 参照]	略	略																	

【改訂の理由】

○「禁忌」、「相互作用 (併用禁忌)」の項

企業報告に基づき、相互作用薬の記載方法を整備致しました。

以上

薬機法改正に伴う医療用医薬品の添付文書電子化についてのご案内

2019年の薬機法(医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律(昭和35年法律第145号))の改正により、2021年8月1日から医療用医薬品の添付文書電子化が施行されました。これを受け、医療用医薬品に同梱されていた紙の添付文書は原則として廃止され、電子的な方法により閲覧することが基本となります。

■ 添付文書の電子的な閲覧方法について

以下のいずれかの方法により閲覧いただくことが可能です。①及び②については従来通りの方法であり変更はございません。

- ① 医薬品医療機器総合機構の「医療用医薬品情報検索ページ」から検索する

(<https://www.pmda.go.jp/PmdaSearch/iyakuSearch/>)

- ② 当社医療関係者向けホームページから検索する

(<https://med.nipro.co.jp/pharmaceuticals>)

- ③ 製品外箱等に記載のGS1バーコードを「添文ナビ[®]」から読み込む

《専用アプリ「添文ナビ[®]」のダウンロードは右のQRコードから》



* 表題製品の電子添文は、こちらのバーコードから閲覧可能です。

リバーロキサバン OD 錠 10mg、15mg 「ニプロ」



今後とも当社製品のご使用にあたって副作用等の有害事象をご経験の際には、当社MRまで、できるだけ速やかにご連絡くださいますようお願い申し上げます。

◎DSU(医薬品安全対策情報)No.331掲載予定 (令和6年12月発行予定)

◎薬機法改正に伴い、2023年7月31日までに個装箱への添付文書の同梱を廃止致しました。流通の関係上、紙の添付文書が封入された製品においては、改訂前の添付文書が封入されている場合がございます。何卒ご了承くださいますようお願い申し上げます。

◎最新の電子添文は医薬品医療機器総合機構の「医療用医薬品情報検索ページ」(<https://www.pmda.go.jp/PmdaSearch/iyakuSearch/>)に掲載しています。また当社医療関係者向けホームページ(<https://med.nipro.co.jp/pharmaceuticals>)にも掲載しています。